

世界銀行債券ファンド（毎月分配型） 〈愛称 ワールドサポーター〉

運用報告書（全体版）

第185期（決算日 2022年11月14日） 第187期（決算日 2023年1月12日） 第189期（決算日 2023年3月13日）
第186期（決算日 2022年12月12日） 第188期（決算日 2023年2月13日） 第190期（決算日 2023年4月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）」は、2023年4月12日に第190期の決算を行ないましたので、第185期から第190期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2007年6月21日から原則無期限です。
運用方針	主として投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、基準価額水準などを勘案して、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<940860>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	証券組入比率	純資産総額	
		税分	込配	み金 期騰落				
	円	円	円	騰落率	%	%	百万円	
161期(2020年11月12日)	2,125		10		1.7	—	98.5	11,738
162期(2020年12月14日)	2,140		10		1.2	—	98.3	11,624
163期(2021年1月12日)	2,114		10		△0.7	—	98.6	11,351
164期(2021年2月12日)	2,147		10		2.0	—	98.6	11,437
165期(2021年3月12日)	2,167		10		1.4	—	98.5	11,412
166期(2021年4月12日)	2,154		10		△0.1	—	98.6	11,272
167期(2021年5月12日)	2,187		10		2.0	—	98.7	11,339
168期(2021年6月14日)	2,220		10		2.0	—	98.4	11,402
169期(2021年7月12日)	2,163		10		△2.1	—	98.7	11,010
170期(2021年8月12日)	2,156		10		0.1	—	98.6	10,883
171期(2021年9月13日)	2,163		10		0.8	—	98.7	10,760
172期(2021年10月12日)	2,142		10		△0.5	—	98.7	10,552
173期(2021年11月12日)	2,160		10		1.3	—	98.5	10,471
174期(2021年12月13日)	2,094		10		△2.6	—	98.5	10,055
175期(2022年1月12日)	2,137		10		2.5	—	98.3	10,158
176期(2022年2月14日)	2,157		10		1.4	—	98.8	9,979
177期(2022年3月14日)	2,097		10		△2.3	—	98.7	9,613
178期(2022年4月12日)	2,273		10		8.9	—	98.6	10,265
179期(2022年5月12日)	2,247		10		△0.7	—	98.5	9,998
180期(2022年6月13日)	2,334		10		4.3	—	98.6	10,278
181期(2022年7月12日)	2,254		10		△3.0	—	98.5	9,869
182期(2022年8月12日)	2,251		10		0.3	—	98.6	9,796
183期(2022年9月12日)	2,367		10		5.6	—	98.5	10,214
184期(2022年10月12日)	2,336		10		△0.9	—	98.6	9,989
185期(2022年11月14日)	2,309		10		△0.7	—	98.5	9,778
186期(2022年12月12日)	2,243		10		△2.4	—	98.5	9,472
187期(2023年1月12日)	2,233		10		0.0	—	98.7	9,394
188期(2023年2月13日)	2,198		10		△1.1	—	98.6	9,199
189期(2023年3月13日)	2,262		10		3.4	—	98.4	9,431
190期(2023年4月12日)	2,289		5		1.4	—	98.6	9,528

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 複数の投資信託に分散投資を行なうため、適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

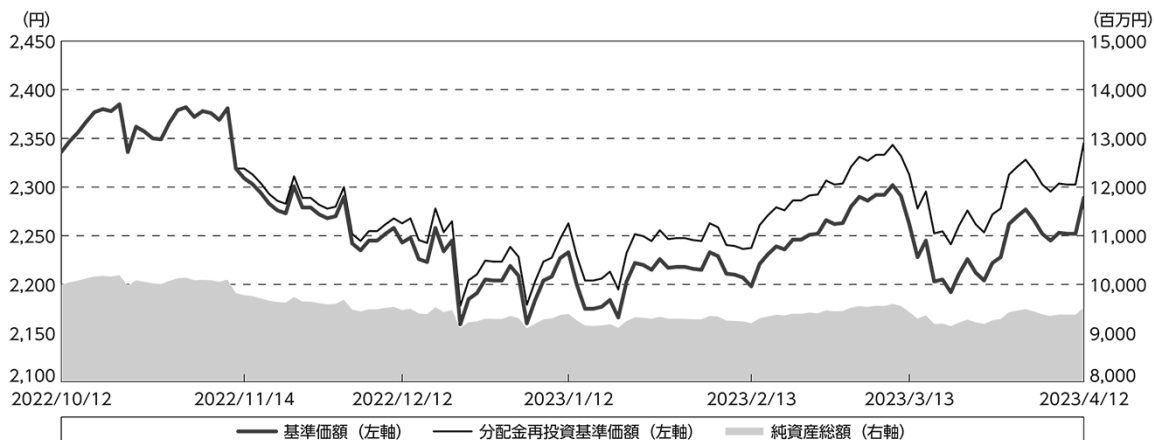
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
第185期	(期 首) 2022年10月12日	円 2,336	% -		% 98.6	
	10月末	2,366	1.3		98.8	
	(期 末) 2022年11月14日	2,319	△0.7		98.5	
第186期	(期 首) 2022年11月14日	2,309	-		98.5	
	11月末	2,270	△1.7		98.6	
	(期 末) 2022年12月12日	2,253	△2.4		98.5	
第187期	(期 首) 2022年12月12日	2,243	-		98.5	
	12月末	2,209	△1.5		98.8	
	(期 末) 2023年1月12日	2,243	0.0		98.7	
第188期	(期 首) 2023年1月12日	2,233	-		98.7	
	1月末	2,218	△0.7		98.7	
	(期 末) 2023年2月13日	2,208	△1.1		98.6	
第189期	(期 首) 2023年2月13日	2,198	-		98.6	
	2月末	2,262	2.9		98.5	
	(期 末) 2023年3月13日	2,272	3.4		98.4	
第190期	(期 首) 2023年3月13日	2,262	-		98.4	
	3月末	2,270	0.4		98.5	
	(期 末) 2023年4月12日	2,294	1.4		98.6	

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2022年10月13日～2023年4月12日）

作成期間中の基準価額等の推移



第185期首：2,336円

第190期末：2,289円（既払分配金（税込み）：55円）

騰落率：0.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年10月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・高利回りの新興国通貨建て世界銀行債券からの利息収入を得たこと。
- ・ポーランドズロチ、ブラジルリアル、コロンビアペソ、メキシコペソなど一部の新興国通貨建て債券の価格が上昇したこと。
- ・ポーランドズロチ、チリペソなど一部の組入通貨が対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・インドルピー、インドネシアルピア、ブラジルレアル、南アフリカランドなど一部の組入通貨が対円で下落したこと。

投資環境

（債券市況）

中国では、中国共産党の第20回全国代表大会が2022年10月に開催されましたが、その後11月下旬に厳しい行動制限を強いる「ゼロコロナ」政策に反対して中国全土で抗議活動が広がるなか、12月に入り中国政府は経済成長を低下させる要因となっていた「ゼロコロナ」政策の撤廃を発表しました。これを受けて、新興国市場はここ数ヵ月間、好況が続いています。2023年の春節（旧正月）期間に関する公式データはまだ公表されていませんが、交通渋滞、飛行機予約、新築住宅販売戸数などの経済指標では経済活動が急速に正常化に向かっていることが示唆されています。これに伴ない、中国と貿易上のつながりが強いその他の新興国市場の見通しも押し上げられています。一方、多くの新興国市場では、一連の積極的な利上げ後も、金融政策が依然として引き締めの領域にあり、今後数ヵ月のうちに国内でデスインフレ（物価上昇率の鈍化）環境が生まれる素地が整いつつあるため、特に中南米や東ヨーロッパを中心に利下げにつながる可能性があるかとみています。ロシアによるウクライナへの侵攻から1年が経過しましたが、地政学的リスクは依然として欧州新興国市場の資産に対する懸念材料となっています。しかし、冬の気候が例年よりも温暖であることに加えて、大量の液化天然ガス（LNG）を含む代替エネルギー供給を大量に確保したことによって、欧州における天然ガス供給の見通しは改善しており、欧州の天然ガス価格は夏場のピーク水準から下落しています。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.30%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA）

当ファンドでは、新興国通貨建ての世界銀行の短期債券を中心に分散投資を行ないました。期間末時点では、メキシコペソ、インドネシアルピア、ポーランドズロチ、ブラジルレアル、インドルピー、南アフリカランド、チリペソ、中国人民元などの通貨建ての世界銀行債券に投資を行なっています。期間中、ファンダ

メンタルズ（経済の基礎的条件）面の追い風が強く、インカム創出力が魅力的な水準にあるとみられる通貨の投資比率を高位に維持しました。

期間中に、当ファンドではメキシコペソの投資比率を引き上げ、足元でポートフォリオの最大の投資比率となっています。メキシコペソについては、高利回り、財政の規律、魅力的な通貨のバリュエーション（価値評価）、安定的な国際収支が相まって優位な状況にあります。メキシコは米国のサプライチェーン（供給網）にとって重要な製造ハブであることから、米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）において独自の立場にあり、メキシコペソは他の新興国通貨に対して際立っています。米国のバイデン政権のもとで積極的な財政出動が実施されるなか、国内への多くの送金や自動車を中心とした消費者の堅調な輸入需要が見受けられます。さらに、インフレが広がりを見せているなかでも、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な感染拡大）を受けた繰り延べ需要に加えて家計貯蓄が依然として潤沢な状況にあるなか、米国人の海外旅行が大きく回復しており、メキシコは多くの人々にとって都合の良い旅行先になっています。ポーランドについては、投資比率を拡大しました。その理由として、地域のエネルギー状況の改善を受けて、総合インフレ率がピークをつける可能性が高いなどインフレ動態が改善していることに加えて、国際収支は経常収支と貿易収支が数ヵ月ぶりに黒字化していることが挙げられます。また、長期にわたる右派政権が再選の機会を逃す可能性があるとともに、野党連合は市場重視型の姿勢を強めるとみられることから、2023年の議会選挙を受けて上振れる可能性があります。インドルピーについては、多くの多国籍企業がサプライチェーンの分散を図っており、インドは競争力のある賃金、労働力の増加、力強い生産性の伸びに支えられ、テクノロジーセクター内で主要な恩恵を受ける立場にあるとみられることから、中期的にポジティブな見方を維持しています。しかし、中国で新型コロナウイルスへの規制が最近緩和されたことや、インバウンド国際投資の支援への取り組みによって企業がオフショア計画を一時的に停止する可能性があることを踏まえて、インドに対する強気な姿勢をやや後退させました。チリペソは産業用金属における外部環境が同じように支援的であり、政治的なノイズが低く、利回りは高水準となっています。

（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2022年10月13日～ 2022年11月14日	2022年11月15日～ 2022年12月12日	2022年12月13日～ 2023年1月12日	2023年1月13日～ 2023年2月13日	2023年2月14日～ 2023年3月13日	2023年3月14日～ 2023年4月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.431%	10 0.444%	10 0.446%	10 0.453%	10 0.440%	5 0.218%
当期の収益	5	6	5	5	7	5
当期の収益以外	4	3	4	4	2	—
翌期繰越分配対象額	81	77	73	69	67	69

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA)

世界的に経済成長が鈍化している状況下で、新興国市場の相対的に高い経済成長が、依然として投資家を引き付ける要因となる可能性が高いとみています。コストプッシュインフレ（原材料費や賃金の急激な上昇により引き起こされる物価上昇）圧力の上昇を受けて、新興国の中央銀行の多くが積極的に金融政策の正常化を続けていますが、先進国の中央銀行と異なり予防的な措置となっています。こうした動きにより、新興国市場ではインフレ期待が引き続き安定的に推移し、先進国市場との実質金利差が魅力的な水準になるとみられます。また、新興国通貨のバリュエーションは引き続き魅力的であると考えています。

引き続き、新興国通貨建ての世界銀行の短期債券に分散投資を行なっていく方針です。原則として、中・長期的に高いリターンが予想される主要新興国の投資比率を高位に維持していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・オープン・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年10月13日～2023年4月12日)

項 目	第185期～第190期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.494	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.148)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(7)	(0.329)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.017)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	11	0.513	
作成期間の平均基準価額は、2,265円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

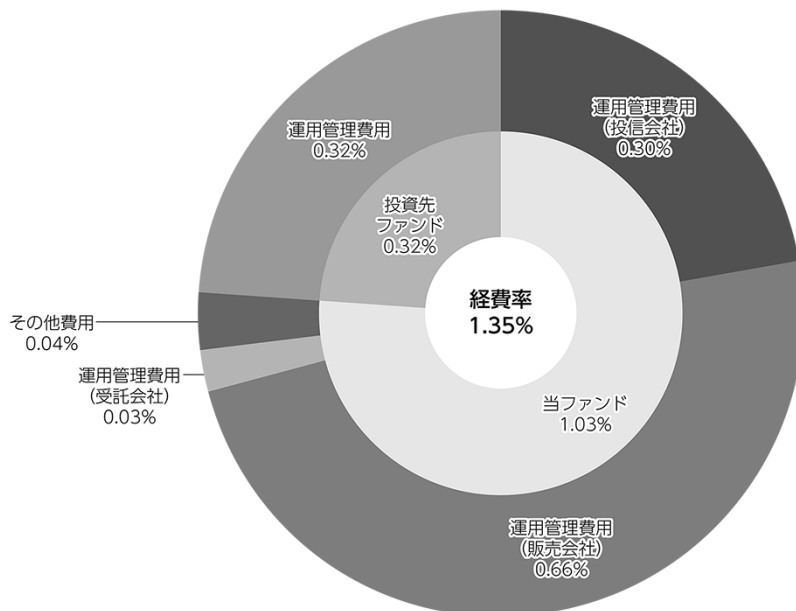
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.35%です。



(単位:%)

経費率 (①+②)	1.35
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月13日～2023年4月12日)

投資信託証券

銘柄		第185期～第190期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	千口 —	千円 —	千口 1,170,222	千円 336,274

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第185期～第190期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 453	千円 460

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月13日～2023年4月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年10月13日～2023年4月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年10月13日～2023年4月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年4月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第184期末		第190期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA			33,600,338		32,430,116	9,391,761	98.6
合	計		33,600,338		32,430,116	9,391,761	98.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第184期末		第190期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド			9,453		9,000	9,139

(注) 親投資信託の2023年4月12日現在の受益権総口数は、305,772千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年4月12日現在)

項	目	第190期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		9,391,761	98.2
マネー・オープン・マザーファンド		9,139	0.1
コール・ローン等、その他		161,955	1.7
投資信託財産総額		9,562,855	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2022年11月14日現在	2022年12月12日現在	2023年1月12日現在	2023年2月13日現在	2023年3月13日現在	2023年4月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	9,852,413,640	9,531,815,533	9,461,383,425	9,253,957,384	9,494,351,773	9,562,855,519
コール・ローン等	184,160,082	155,881,584	179,780,007	173,382,174	200,469,868	161,954,230
投資信託受益証券(評価額)	9,628,368,090	9,331,011,450	9,272,259,704	9,071,435,635	9,284,742,330	9,391,761,714
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	9,601,153	9,438,402	9,343,714	9,139,575	9,139,575	9,139,575
未収入金	30,284,315	35,484,097	—	—	—	—
(B) 負債	74,237,496	59,772,947	66,386,725	53,982,242	62,611,056	34,088,614
未払収益分配金	42,350,608	42,229,360	42,080,978	41,858,408	41,698,501	20,818,676
未払解約金	21,033,081	8,185,556	14,157,466	1,536,098	10,966,309	2,525,201
未払信託報酬	9,008,270	7,296,223	7,843,573	8,035,540	7,177,586	7,579,117
未払利息	314	304	90	150	176	10
その他未払費用	1,845,223	2,061,504	2,304,618	2,552,046	2,768,484	3,165,610
(C) 純資産総額(A－B)	9,778,176,144	9,472,042,586	9,394,996,700	9,199,975,142	9,431,740,717	9,528,766,905
元本	42,350,608,422	42,229,360,304	42,080,978,292	41,858,408,662	41,698,501,675	41,637,352,707
次期繰越損益金	△32,572,432,278	△32,757,317,718	△32,685,981,592	△32,658,433,520	△32,266,760,958	△32,108,585,802
(D) 受益権総口数	42,350,608,422口	42,229,360,304口	42,080,978,292口	41,858,408,662口	41,698,501,675口	41,637,352,707口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,309円	2,243円	2,233円	2,198円	2,262円	2,289円

(注) 当ファンドの第185期首元本額は42,768,668,264円、第185～190期中追加設定元本額は745,668,419円、第185～190期中一部解約元本額は1,876,983,976円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第185期0.2309円、第186期0.2243円、第187期0.2233円、第188期0.2198円、第189期0.2262円、第190期0.2289円です。

(注) 2023年4月12日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は32,108,585,802円です。

○損益の状況

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2022年10月13日～ 2022年11月14日	2022年11月15日～ 2022年12月12日	2022年12月13日～ 2023年1月12日	2023年1月13日～ 2023年2月13日	2023年2月14日～ 2023年3月13日	2023年3月14日～ 2023年4月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	33,213,054	33,147,519	32,900,929	32,770,127	32,517,349	32,422,246
受取配当金	33,220,387	33,155,508	32,905,588	32,772,098	32,518,614	32,423,144
支払利息	△ 7,333	△ 7,989	△ 4,659	△ 1,971	△ 1,265	△ 898
(B) 有価証券売買損益	△ 95,558,284	△ 261,173,435	△ 26,204,880	△ 127,805,226	282,492,565	107,394,470
売買益	2,379,799	850,223	951,681	939,538	284,554,516	107,402,078
売買損	△ 97,938,083	△ 262,023,658	△ 27,156,561	△ 128,744,764	△ 2,061,953	△ 7,608
(C) 信託報酬等	△ 9,324,723	△ 7,552,532	△ 8,119,106	△ 8,317,818	△ 7,429,727	△ 8,008,135
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 71,669,953	△ 235,578,448	△ 1,423,057	△ 103,352,917	307,580,187	131,808,581
(E) 前期繰越損益金	△12,166,314,593	△12,189,762,143	△12,371,022,800	△12,307,439,070	△12,337,686,406	△12,022,079,246
(F) 追加信託差損益金	△20,292,097,124	△20,289,747,767	△20,271,454,757	△20,205,783,125	△20,194,956,238	△20,197,496,461
(配当等相当額)	(364,532,300)	(345,082,572)	(327,302,052)	(308,368,041)	(289,882,576)	(279,524,465)
(売買損益相当額)	(△20,656,629,424)	(△20,634,830,339)	(△20,598,756,809)	(△20,514,151,166)	(△20,484,838,814)	(△20,477,020,926)
(G) 計(D+E+F)	△32,530,081,670	△32,715,088,358	△32,643,900,614	△32,616,575,112	△32,225,062,457	△32,087,767,126
(H) 収益分配金	△ 42,350,608	△ 42,229,360	△ 42,080,978	△ 41,858,408	△ 41,698,501	△ 20,818,676
次期繰越損益金(G+H)	△32,572,432,278	△32,757,317,718	△32,685,981,592	△32,658,433,520	△32,266,760,958	△32,108,585,802
追加信託差損益金	△20,310,559,852	△20,306,382,665	△20,288,754,232	△20,223,189,346	△20,204,904,212	△20,197,496,461
(配当等相当額)	(346,069,572)	(328,447,674)	(310,002,577)	(290,961,820)	(279,934,602)	(279,524,465)
(売買損益相当額)	(△20,656,629,424)	(△20,634,830,339)	(△20,598,756,809)	(△20,514,151,166)	(△20,484,838,814)	(△20,477,020,926)
分配準備積立金	-	-	-	-	-	9,746,430
繰越損益金	△12,261,872,426	△12,450,935,053	△12,397,227,360	△12,435,244,174	△12,061,856,746	△11,920,835,771

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年10月13日～2023年4月12日)は以下の通りです。

項 目	2022年10月13日～ 2022年11月14日	2022年11月15日～ 2022年12月12日	2022年12月13日～ 2023年1月12日	2023年1月13日～ 2023年2月13日	2023年2月14日～ 2023年3月13日	2023年3月14日～ 2023年4月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	23,887,880円	25,594,462円	24,781,503円	24,452,187円	31,750,527円	30,565,106円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	364,532,300円	345,082,572円	327,302,052円	308,368,041円	289,882,576円	279,524,465円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	388,420,180円	370,677,034円	352,083,555円	332,820,228円	321,633,103円	310,089,571円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	91円	87円	83円	79円	77円	74円
g. 分配金	42,350,608円	42,229,360円	42,080,978円	41,858,408円	41,698,501円	20,818,676円
h. 分配金(1万円当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	5円

○お知らせ

約款変更について

2022年10月13日から2023年4月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA
	ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	リスクを抑制しながら安定的な収益の獲得をめざします。
主な投資対象	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主な投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主な投資対象とすることで、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。 各通貨への投資比率は、各国の経済状況、金利水準、市場の流動性などに基づき決定します。 組み入れる債券は、原則として残存期間が3年以下(変動利付債の場合は10年以下)のものとなります。 ファンドの流動性を確保するため、一部米ドルやユーロなどの主要国通貨建ての債券に投資することがあります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 原則として純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。 株式への投資は行ないません。
収益分配	原則として毎月6日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	<p>純資産総額に対して年率0.323%程度(国内における消費税等相当額はかかりません。)</p> <p>※当該外国投資信託の純資産総額が200億円、為替相場が1米ドル=120円の場合の概算値です。</p> <p>※当該外国投資信託の信託報酬率の内訳は、純資産総額に対し年率0.30%~0.32%と、固定報酬として年額5,000米ドル(純資産総額に対し年率0.003%相当)です。</p> <p>※純資産総額や為替相場などにより円換算後の信託報酬率は変動します。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド
信託期間	2106年12月31日まで
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資ポートフォリオ

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド (クラス別)

SHARE CLASS	CURRENCY	TOTAL NET ASSETS(Balance)
A	JPY	9,530,719,049 (100%)

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド

2022年2月28日現在

社債等	元本金額	公正価値 JPY	純資産に占める 割合 (%)
国際機関			
ZAR IBRD 0% 01-Apr-22	39,615,000	294,667,611	3.09
INR IBRD 4.9% 19-Apr-22	154,100,000	234,712,238	2.46
MXN IBRD 7.16% 25-Apr-22	14,000,000	78,774,213	0.83
RUB IBRD 6.14% 27-Jun-22	20,000,000	20,418,440	0.21
CNY IBRD 1.75% 01-Jul-22	19,600,000	356,854,387	3.74
MXN IBRD 6.8% 13-Jul-22	5,920,000	33,153,349	0.35
RUB IBRD 5.95% 28-Jul-22	40,100,000	41,207,832	0.43
RUB IBRD 5.66% 25-Aug-22	83,000,000	84,292,934	0.88
MXN IBRD 0% 19-Sep-22	41,380,000	222,502,811	2.33
CNY IBRD 2.5% 03-Nov-22	49,000,000	894,726,229	9.39
MXN IBRD 7% 24-Jan-23	148,000,000	821,185,397	8.62
IDR IBRD 6% 09-Mar-23	50,000,000,000	403,789,390	4.24
BRL IBRD 5.85% 22-Mar-23	4,970,000	105,050,298	1.10
BRL IBRD 0% 30-Mar-23	3,240,000	63,420,918	0.67
PHP IBRD 4.5% 03-Apr-23	54,000,000	121,839,129	1.28
INR IBRD 5.05% 21-Apr-23	262,500,000	396,764,372	4.16
INR IBRD 0% 09-May-23	80,000,000	114,087,935	1.20
INR IBRD 0% 11-May-23	36,900,000	52,161,889	0.55
ZAR IBRD 7.5% 17-May-23	10,000,000	75,984,429	0.80
INR IBRD 0% 19-May-23	92,800,000	130,369,777	1.37
PEN IBRD 4% 30-May-23	6,400,000	190,361,932	2.00
BRL IBRD 8.25% 22-Jun-23	18,595,000	399,235,766	4.19
BRL IBRD 5.75% 26-Jun-23	4,090,000	85,051,678	0.89
PLN IBRD 0.05% 27-Jul-23	30,000,000	781,200,051	8.20
INR IBRD 5.00% 07-Aug-23	28,000,000	41,573,954	0.44
INR IBRD 0% 24-Aug-23	38,100,000	52,336,569	0.55
IDR IBRD 4.3% 13-Sep-23	52,500,000,000	415,612,948	4.36
PLN IBRD 2.125% 18-Sep-23	630,000	16,959,599	0.18
IDR IBRD 7.89% 10-Oct-23	2,050,000,000	17,064,086	0.18
COP IBRD 2.9% 22-Dec-23	9,400,000,000	254,119,878	2.67
IDR IBRD 7.25% 15-Mar-24	38,450,000,000	321,309,600	3.37
BRL IBRD 5.4% 19-Mar-24	14,540,000	288,527,636	3.03
ZAR IBRD 0% 20-Jun-24	50,000,000	320,101,222	3.36
MXN IBRD 0% 10-Jul-24	20,500,000	94,248,067	0.99

	社債等(続き)	元本金額	公正価値 JPY	純資産に占める 割合(%)
	国際機関(続き)			
ZAR	IBRD 0% 20-Sep-24	17,500,000	110,081,769	1.16
BRL	IBRD 0% 14-Nov-24	2,740,000	45,178,511	0.46
CLP	IBRD 2% 31-Jan-25	1,950,000,000	249,751,842	2.61
CLP	IBRD 5.7% 07-Feb-25	2,420,000,000	345,599,754	3.62
	国際機関合計(取得原価: 8,265,031,092円)		<u>8,574,278,440</u>	<u>89.96</u>
	社債等合計(取得原価: 8,265,031,092円)		<u>8,574,278,440</u>	<u>89.96</u>
	外国為替先渡契約		<u>655,797</u>	<u>0.01</u>
	純金融資産合計		<u>8,574,934,237</u>	<u>89.97</u>
	その他純資産		<u>955,784,812</u>	<u>10.03</u>
	純資産合計		<u>9,530,719,049</u>	<u>100.00</u>

IBRD = 国際復興開発銀行

外国為替先渡契約

2022年2月、シリーズ・トラストは以下の為替先渡契約をカストディアンに保有していた。

契約金額 (売建) / 買建	通貨	満期日	米ドル未収額 / (未払額) 日本円	外貨受取 / (支払) 日本円	未実現利益 / (損失) 日本円
(2,368,000)	US Dollar	01-Mar-22	273,252,987	(272,597,190)	655,797
外国為替先渡契約に係る未実現利益					<u>655,797</u>

上記の為替先渡契約はすべて外国通貨のキャッシュフロー管理のための短期的なヘッジに関係している。上記の未決済契約の相手側通貨はすべて日本円である。上記の為替先渡契約は当期を通して保有された為替先渡契約を表している。

デリバティブ商品とヘッジ活動

当ファンドは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに關係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。

このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。当ファンドはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

デリバティブ商品とヘッジ活動(続き)

当ファンドは主に外貨のキャッシュフロー管理のための短期的なヘッジとして為替先渡契約に投資しており、主なリスク・エクスポージャーは外国為替リスクである。当ファンドが保有する為替先渡契約は外貨現金エクスポージャーの管理のためおよびリスク・ヘッジ目的で使用される。ただし、ASC第815号の要件に基づく会計目的上、これらのデリバティブはヘッジとみなされない。これらのデリバティブ商品の公正価値の変動額は損益計算書においてデリバティブに係る実現損失または未実現評価損の純変動額として反映されている。

以下の表は2022年2月28日に終了した年度の損益計算書に含まれるデリバティブに係る純損失を示している。

	実現損失 日本円	純未実現利益の 変動額 日本円	合計 日本円	当期中平均活動額* 日本円
外国為替先渡契約	(31,789,431)	655,797	(31,133,634)	44,757,524

*日本円に転換された各契約の平均想定エクスポージャーを用いて計算された購入活動額に基づく当期中平均活動額

◆損益計算書

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド

2022年2月28日に終了した会計年度

	2022 JPY
投資収益	
利息収入	445,755,252
投資収益合計	445,755,252
費用	
管理報酬	4,805,798
運用報酬	26,698,946
受託者報酬	599,171
専門家報酬	6,920,056
保管費用	2,626,953
その他費用	794,250
ファンド費用合計	42,445,174
投資純利益	403,310,078
実現純損失および未実現利益の変動額	
実現損失	
投資有価証券	(609,073,504)
外国為替取引および外国為替先渡契約	79,187,258
実現純損失	(529,886,246)
未実現評価益の変動額	
投資有価証券	691,165,775
外国為替取引および外国為替先渡契約	(31,272,616)
未実現評価益の純変動額	659,893,159
実現純損失および未実現利益の変動額	130,006,913
運用による純資産の純増加額	533,316,991

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日 2023年 1月16日）
 (2022年 1月18日～2023年 1月16日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行いません。
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
16期(2019年1月15日)	円		%	%	百万円
	10,165		△0.1	—	131
17期(2020年1月15日)	10,162		△0.0	—	696
18期(2021年1月15日)	10,159		△0.0	—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0	—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0	—	316

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2022年1月17日	10,158		—
1月末	10,158		0.0
2月末	10,158		0.0
3月末	10,157		△0.0
4月末	10,157		△0.0
5月末	10,157		△0.0
6月末	10,157		△0.0
7月末	10,157		△0.0
8月末	10,157		△0.0
9月末	10,157		△0.0
10月末	10,156		△0.0
11月末	10,156		△0.0
12月末	10,155		△0.0
(期 末)			
2023年1月16日	10,155		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年1月18日～2023年1月16日)

基準価額の推移

期間の初め10,158円の基準価額は、期間末に10,155円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

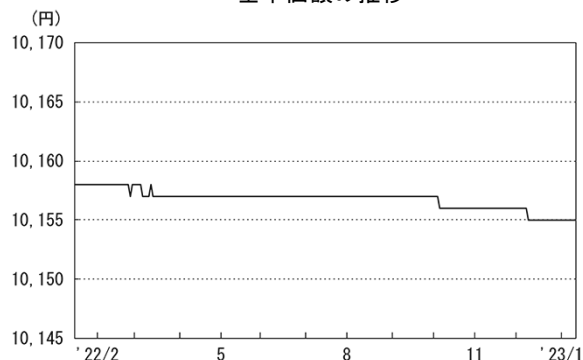
基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/01/17	2022/01/18	2022/12/09	2023/01/16
10,158円	10,158円	10,155円	10,155円

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.03% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.03% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.09% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.19% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年1月16日現在)

2023年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 316,785	% 100.0
投資信託財産総額	316,785	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	316,785,966
コール・ローン等	316,785,966
(B) 負債	708,828
未払解約金	708,627
未払利息	201
(C) 純資産総額(A-B)	316,077,138
元本	311,251,070
次期繰越損益金	4,826,068
(D) 受益権総口数	311,251,070口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,155円

(注) 当ファンドの期首元本額は392,661,920円、期中追加設定元本額は25,036,312円、期中一部解約元本額は106,447,162円です。

(注) 2023年1月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	161,056,339円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	77,255,205円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	13,234,116円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	10,805,868円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	9,201,097円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース	7,904,694円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	6,525,990円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,478,429円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,692,365円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,653,229円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,474,477円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルレアルコース)	2,088,033円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	1,228,287円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型(米ドルコース)	1,188,936円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドルピーコース)	600,926円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(メキシコペソコース)	564,264円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	558,277円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	460,487円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	458,318円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(南アフリカランドコース)	428,256円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)E Fund CSI300	198,295円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドネシアルピアコース)	175,442円
・上場インデックスファンド海外債券(FISETWGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0155円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○損益の状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 82,862
支払利息	△ 82,862
(B) 当期損益金(A)	△ 82,862
(C) 前期繰越損益金	6,189,335
(D) 追加信託差損益金	392,589
(E) 解約差損益金	△1,672,994
(F) 計(B+C+D+E)	4,826,068
次期繰越損益金(F)	4,826,068

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2022年1月18日から2023年1月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

寄付についてのご報告

「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）＜愛称 ワールドサポーター＞」は、2023年4月12日に第190期の決算を迎えました。

目論見書記載の通り、当ファンドでご負担いただいた当期間の信託報酬のうち、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じた金額、総額2,370,669円を、国際開発協会（International Development Association、通称IDA：アイダ）に寄付させていただきます。ワールドサポーターを通じたこれまでの寄付金の総額は累計で、548,613,410円となっています。

IDAは、世界銀行の名で知られる国際復興開発銀行（IBRD）の姉妹機関として1960年に設立されました。途上国の中でも特に貧しい国々を支援するため、経済成長の促進、不平等の是正、生活水準向上等を実現すべく超長期で無利子の融資や贈与を行なっています。

日興アセットマネジメントは、今後もワールドサポーターを通じて、世界の子どもたちに笑顔をもたらす新興国支援の取組みを応援してまいります。

引き続きワールドサポーターをみなさまの資産形成のツールとして未長くご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。